

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水整備課	計画担当	内線等	2247
----	-------	-------	------	-----	------

事業コード		事務事業名	下水道施設管理システム構築事業		
根拠法令等	下水道法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名	下水道
基本目標	快適でやすらぎのあるまちづくり

事務事業の内容

対象	埋設管管理と確認
手段	台帳紙ベースからデジタルベース化にすることによって
想定する成果	台帳の劣化の解消、緊急時の迅速な対応と災害時のためのデータ分散化及び印刷費等の軽減化。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
		システム導入に伴う レベル測量委託 1,740千円 配管データ確認	下水道台帳システム導入15,000千円 保守費リース料 750千円 測量委託 3,600千円

目標値

成果指標名	事業進捗率
成果指標の説明	システム累計事業費 / システム全体事業費 × 100 (5年ベース総事業費 55,200千円)

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画			54.4%
	実績	0%	3.9%	
事業費	事業費	0	1,740,900	19,350,000
	人件費	0	417,900	8,497,000
	(人数)	0	0.05	1
	合計	0	2,158,800	27,847,000
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	0	2,158,800	27,847,000

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	14年度導入に向けて準備作業は完了した。
効率性	6	6	他市のシステムを研究して、合理的、経済的なものを選定した。
公共性	6	10	正確なデータをシステムに導入するため、測量を委託発注した。
緊急度	3	10	システムのデジタル化は時代のすう勢であり、強化地域に指定されたため早急に台帳システムの整備を図る。
小計	21	32	
市民参加度	0	0	管路の確認は今後情報公開を行う予定である。
合計	21	32	
総合評価	B	B	

これまでに実施した改善点

達成度	近隣の市町やセミナー等で資料収集を行い、業者特定に関しては水道と連携を取り合った。
効率性	上水道と下水道で1つのサーバーにするため、コストの低減化を図った。
公共性	統合型GISに準拠した下水道台帳システムにこだわった。
緊急度	早急なシステム実現に向け正確なデータを整えた。
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	平成16年度までにシステムを構築したい。
効率性	台帳整備が補助事業採択となれば良い。
公共性	今後の情報公開に向けた他課との調整が必要である。
緊急度	災害時に強い統合型システム構築が必要である。
市民参加度	管路の確認は今後情報公開を行う予定。